

<対策のポイント>

新たな花粉症対策に加え、カーボンニュートラル等の実現に向けて川上から川下までの森林・林業・木材産業政策を総合的に支援する交付金を創設する等の取組を推進します。

<政策目標>

- 国産材の供給・利用量の増加（34百万m³ [令和3年] → 42百万m³ [令和12年まで]）
- スギ花粉の発生量の削減（令和2年度比 約2割削減 [令和15年まで]、5割削減 [令和35年まで]）

<事業の全体像>

花粉削減・グリーン成長総合対策の全体像

新たな花粉症対策の展開

1. スギ人工林の伐採・植替え等の加速化

- ・意欲ある林業経営体に森林管理を委託する所有者への協力金の創設（※）森林整備事業においてもスギ人工林の伐採・植替えを推進

2. スギ材の需要拡大

- ・横架材のスギ材への置換えに資する集成材工場・製品保管庫等の整備を支援
- ・建築事業者によるスギJAS構造材の利用を支援
- ・スギ材の需要拡大に向けた国民運動を促進する取組を支援

3. 花粉の少ない苗木の生産拡大

- ・原種苗木の生産施設、採種・採穂園、コンテナ苗生産施設の増設を支援
- ・細胞増殖技術を活用した花粉の少ない苗木の大量増産技術の開発を支援
- ・花粉の少ない苗木の広域流通を支援

4. 林業の生産性向上及び労働力の確保

- ・木材加工業者等が行う伐採に必要な高性能林業機械の導入を支援
- ・他産業との連携、外国人材等の新規就業者の育成を支援

5. 花粉飛散量の予測・飛散防止

- ・花粉着花量調査の対象都道府県及び調査地点の拡大
- ・飛散防止剤の早期実用化に向けた現場での実証試験・環境影響調査を支援

等

国産材の安定供給に向けた生産基盤強化等

1. 林業・木材産業の生産基盤強化

- ・搬出間伐、路網の整備・機能強化、高性能林業機械の導入を支援
- ・製材・合板工場、木造公共建築物の整備を支援
- ・木質バイオマス利用促進施設、特用林産振興施設の整備を支援

2. 林業のデジタル化・イノベーションの推進

- ・林業機械の自動化・遠隔操作化、木質系新素材の開発・実証を支援

3. 建築用木材供給・利用の強化

- ・都市部における建築用木材の利用実証、CLT建築物の設計・建築実証を支援

4. 木材需要の創出・輸出力の強化

- ・木の効果の見える化や木材製品の輸出促進を支援
- ・「地域内エコシステム」の展開、特用林産物の需要拡大を支援

5. 林業の担い手の育成・確保

- ・新規就業者への体系的な研修、就業前の青年への給付、林業経営体の労働安全対策を支援

6. 「新しい林業」の経営モデルの構築

- ・伐採から再生林・保育に至る収支がプラスとなる経営モデルの構築を支援

7. 意欲と能力のある経営者への融資の円滑化

- ・林業経営者が行う機械導入・施設整備に対する融資の実質無利子化を支援

8. 山村の活性化

- ・地域住民や地域外関係者による森林の保全管理を支援

等